

授業科目 老年看護学概論	区分・教育内容																																						
	専門分野Ⅱ 老年看護学																																						
授業担当者 佐藤 聡美 (副学院長) 仲野谷 美貴子 (中通総合病院)	開講時期	単位数	時間数																																				
	前期～中期	1 単位	30 時間																																				
授業の目的 高齢者の特徴と高齢者をとりまく医療福祉の動向を理解し、看護の果たす役割を学ぶ。																																							
授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 老年期を生きる人々の生活と健康について理解する。 2. 高齢者の人生の最終段階における看護を理解する。 3. 高齢社会の現状と高齢者の生活を支える医療福祉制度を理解する。 																																							
授業概要 わが国では、世界で類のないほどのスピードで高齢化が進み、老年看護は複雑、高度化している。この授業では、高齢者の特徴と高齢者を巻き込む社会の理解、高齢者医療福祉の動向と看護に求められるものを学ぶ内容とする。高齢者疑似体験の演習を取り入れ、加齢に伴い身体的変化を実感できるようにし、そこから看護の留意点を考える授業としたい。また、老年看護の課題の一つでもある認知症患者の看護については、その専門家である認知看護認定看護師の講義で、学びを深めてもらいたい。																																							
授業計画 (進め方) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">佐藤担当</td> <td style="width: 5%;">1 回目</td> <td>ライフサイクルと老年期・加齢変化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 回目</td> <td>高齢者の社会生活</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 回目</td> <td>老年看護の歴史・老年看護の定義と役割</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 回目</td> <td>高齢者の権利と看護倫理・高齢者虐待をめぐる問題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 回目</td> <td>倫理的ジレンマ・臨床で起こる倫理的問題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6 回目</td> <td>老いと死</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7 回目</td> <td>死に関わる権利とエンドオブライフケア・グリーフケア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8 回目</td> <td>高齢者に関するヘルスケアシステムの変遷・老人福祉法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9 回目</td> <td>高齢者医療確保法・介護保険法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 回目</td> <td>地域包括ケアシステムと看護の課題</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11・12 回目</td> <td>演習：高齢者疑似体験</td> </tr> <tr> <td>仲野谷担当</td> <td>1～3 回目</td> <td>認知症高齢者の看護</td> </tr> </table>				佐藤担当	1 回目	ライフサイクルと老年期・加齢変化		2 回目	高齢者の社会生活		3 回目	老年看護の歴史・老年看護の定義と役割		4 回目	高齢者の権利と看護倫理・高齢者虐待をめぐる問題		5 回目	倫理的ジレンマ・臨床で起こる倫理的問題		6 回目	老いと死		7 回目	死に関わる権利とエンドオブライフケア・グリーフケア		8 回目	高齢者に関するヘルスケアシステムの変遷・老人福祉法		9 回目	高齢者医療確保法・介護保険法		10 回目	地域包括ケアシステムと看護の課題		11・12 回目	演習：高齢者疑似体験	仲野谷担当	1～3 回目	認知症高齢者の看護
佐藤担当	1 回目	ライフサイクルと老年期・加齢変化																																					
	2 回目	高齢者の社会生活																																					
	3 回目	老年看護の歴史・老年看護の定義と役割																																					
	4 回目	高齢者の権利と看護倫理・高齢者虐待をめぐる問題																																					
	5 回目	倫理的ジレンマ・臨床で起こる倫理的問題																																					
	6 回目	老いと死																																					
	7 回目	死に関わる権利とエンドオブライフケア・グリーフケア																																					
	8 回目	高齢者に関するヘルスケアシステムの変遷・老人福祉法																																					
	9 回目	高齢者医療確保法・介護保険法																																					
	10 回目	地域包括ケアシステムと看護の課題																																					
	11・12 回目	演習：高齢者疑似体験																																					
仲野谷担当	1～3 回目	認知症高齢者の看護																																					
テキスト 最新老年看護学 第3版 2019年版 日本看護協会出版会																																							
指定図書・参考書 公衆衛生が見える 2018-2019 第3版 メディックメディア ※基礎分野「生活と健康」のテキスト																																							
評価の方法 講義終了後に筆記試験を行う。 佐藤 80 点・仲野谷 20 点 合計 100 点で評価する																																							